

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くわの家 ステラフレンズ		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和6年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和6年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な方法を使って、コミュニケーション能力を高めている	手話、絵カード、ジェスチャーなど、様々な表現を使ってやり取りが楽しめるように工夫している	誰もが見てわかる表示を増やし、コミュニケーションがスムーズに出来るように様々な配慮をしていく
2	事業所(ミラフレンズ・ステラフレンズ・くわの家)があることでスタッフ交流がおこなえ、助け合ってサービス提供ができる	送迎車の運行は、協力し合っている	くわの家との交流も、今以上に行う中でスタッフのスキルアップにつなげていく事ができる 見学や就労体験の場の提供をしていく事で、将来を見据えた支援に繋げていく事ができる
3	療育を優先させたサービスを提供している	送迎、預かり等保護者のニーズには可能な限り対応している	支援内容、方法の検討、改善を十分におこなっていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援(ピアカウンセリング等)が不十分	時間的な制約がある 通常営業との兼合い等 年間計画が不十分である	保護者(家族)参加の活動も実施していく
2	地域の方々との交流の場がもてない	近所の老人介護施設との交流を進めたいが、コロナ等の感染症の流行が重なり、交流が難しい 下校時間の関係で、みんなで公園での遊びの時間が持たず、近所の友だちとの交流ができなくなった	事業所発信で地域の方々との交流のイベントを企画していく 地域のお祭りやイベントをリサーチして積極的に参加する
3			